


強い会社の着眼点(第19回)

古いルーターはリスクフル！買い替えポイントは？

2024.12.26



ESG(環境・社会・企業統治)経営に見られるように環境保全が企業の課題になり、リユースやリサイクルなどの取り組みとともにモノを大切に使うことが重要であるのは間違いない。ただ、古いものをいつまでも使い続けるリスクもある。特に技術の進化が激しいIT機器だ。



**『ルーターのトラブル・保守』でお悩みの方に
おすすめ資料をご紹介します！**

資料ダウンロードはこちら >

旧型のルーターやスイッチを使い続けて業務に支障

IT機器の中でも、社内ネットワークで利用されるスイッチやルーター。通信速度が1Gbpsや10Gbps対応のLANスイッチがオフィスでは一般的になる中、故障しないからといって社内で昔の100Mbpsのスイッチを使い続けるケースもあるかもしれない。だが、端末とサーバーの通信が遅くなるなど、業務に支障を来しかねない恐れがある。WAN側で利用するルーターも同様だ。インターネットや拠点などを接続する光アクセス回線が高速になる一方、ルーターが低速ではアクセス回線のパフォーマンスを生かしきれないだけでなく、オンライン会議やクラウドサービスなどの利用にも支障を来すことになる。

社内ネットワークとインターネットとの出入り口となるゲートウェイにルーターを設置するのが一般的だ。このルーターがトラブルを起こせば、Webアクセスやメールの送受信などインターネット経由で利用するサービスの利用や、拠点間の通信が止まる恐れがある。自社のユーザーのみならず、メールをやり取りできない顧客・取引先にも影響を与えかねないといえる。

故障やセキュリティのリスクが高くなる古いWi-Fi… 続きを読む